



SIC Annual Report 2016

(平成28年度事業報告)

平成29年8月31日



株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd.

INDEX

1	インキュベーション施設と入居企業	
1	SIC-1	p1. 2
2	SIC-2	p3. 4
3	SIC-3	p5. 6
4	Desk ¹⁰	p7
5	SIC 全体	p8
2	SIC 実施事業	
	ー経営サポートー	
1	企業支援	p9
2	セミナー	p10.11
	ー技術開発ー	
3	SIC 燃料電池研究会	p12
4	かながわ環境関連産業ネットワーク事業	p13
5	さがみはら表面技術研究所	p14
6	首都圏南西地域連携サポート事業	p15.16.17
7	産業用ロボット導入支援事業	p18.19
	ー人材育成ー	
8	SIC 経営塾	p20
9	SIC 職場リーダー養成塾	p21
10	SIC カイゼン・スクール	p22
11	みんなで一人前の社会人になる研修	p23
12	さがみはら子どもアントレプレナー体験事業	p24
13	SIC アントレ・インターンシップ	p25
14	サガツクナビ (地域産業界の人づくり支援事業)	p26
	ー資金調達ー	
15	SIC 1号投資事業有限責任組合	p27
	ー販路開拓ー	
16	台湾ビジネスサポート事業	p28
	ーインキュベーションコンサルタントー	
17	運営サポート事業	p29
3	SIC 会社概要	
1	さがみはら産業創造センターの歩み	p30
2	主な事業と開始年度 (カテゴリー別)	p31
3	財務状況	p32
4	競争的資金の獲得	p33
5	SIC 及び SIC ファンドの出資	p34
6	スタッフ数の変遷	p34
7	支援ネットワーク	p34
8	海外及び国内からの視察受け入れ	p35
9	新聞掲載	p36
10	広報紙「かわらばん」の発行	p37
11	株主と役員	p38

1-1-1

SIC-1 (インキュベーションセンター)

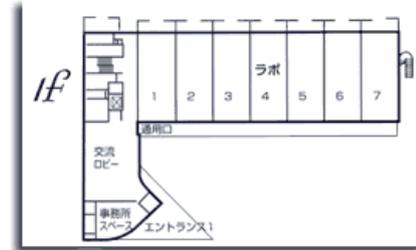
入居対象

<新規創業者>

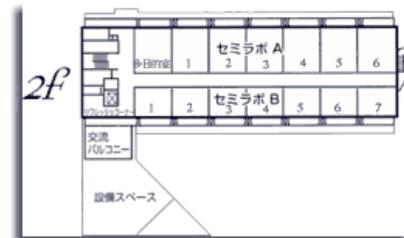
- ・創業準備中または創業間もない企業および個人
- ・研究開発により、新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す創業間もない企業および個人

<企業>

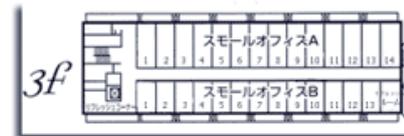
- ・新分野進出により経営基盤の強化を目指す中小企業
- ・研究開発により新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す中小企業



1階平面図



2階平面図

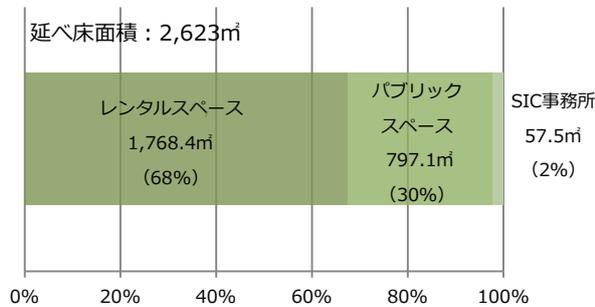


3階平面図

入居期間

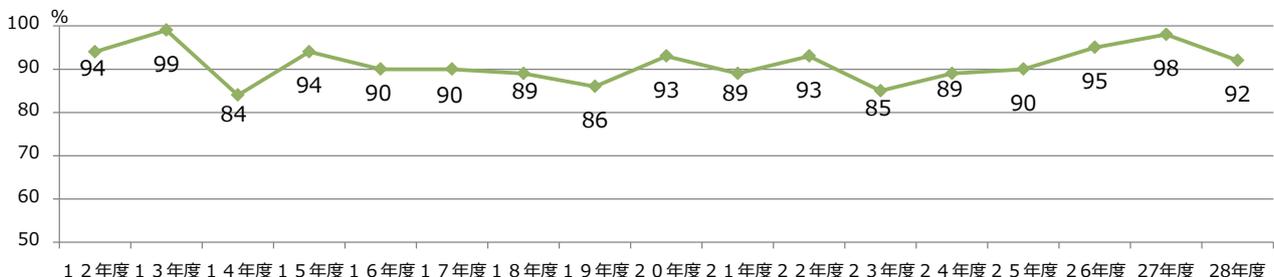
3年間 (2年間の再契約が2回可)

施設概要



	ラボ	セミラボ A	セミラボ B	スモールオフィス A	スモールオフィス B
設置階	1階	2階		3階	
部屋数	7室	7室	7室	12室	13室
床面積	94.5㎡	47.3㎡	31.5㎡	23.6㎡	17.3㎡

入居率 (賃料ベース)

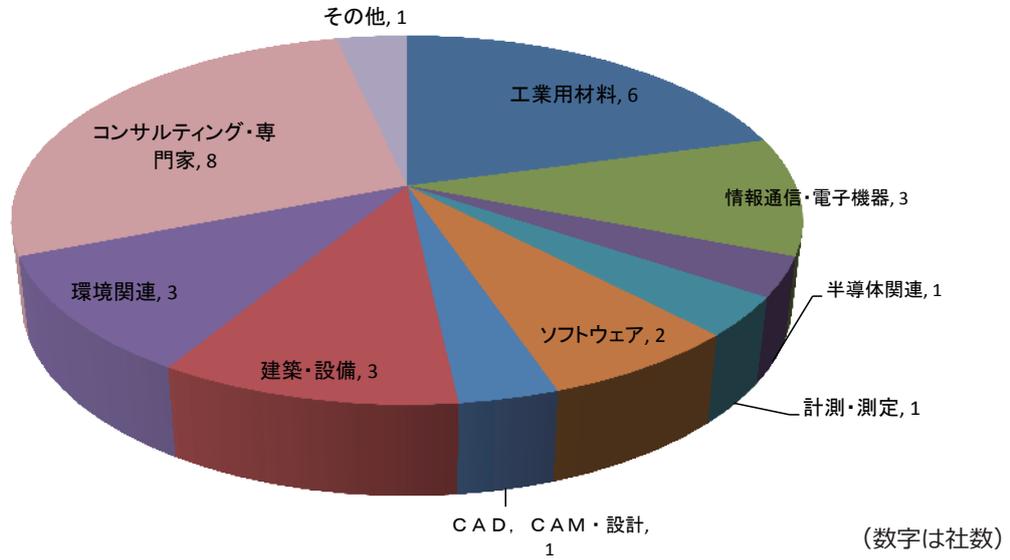


1-1-2

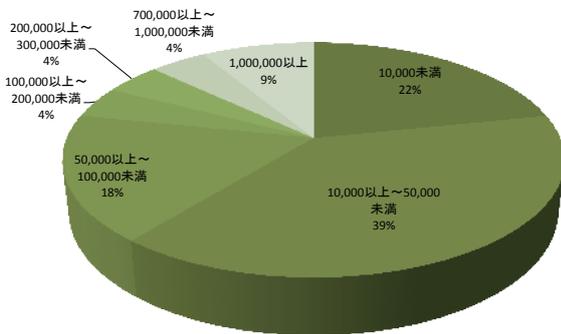
S I C - 1

入居企業データ (平成29年3月末)

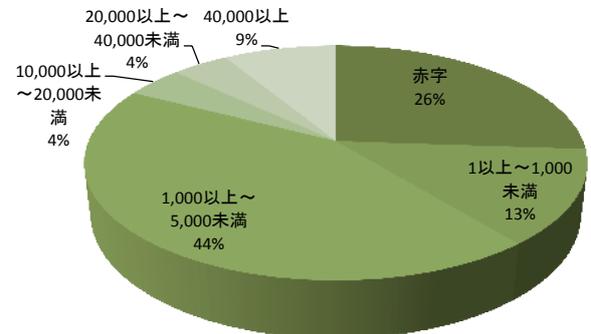
業種



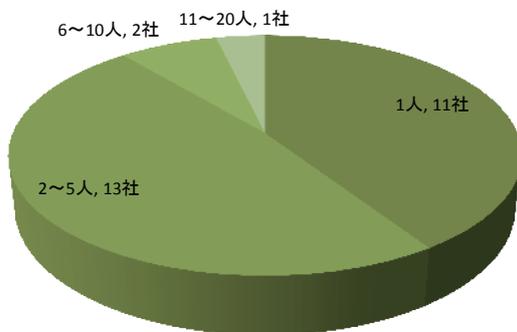
売上高



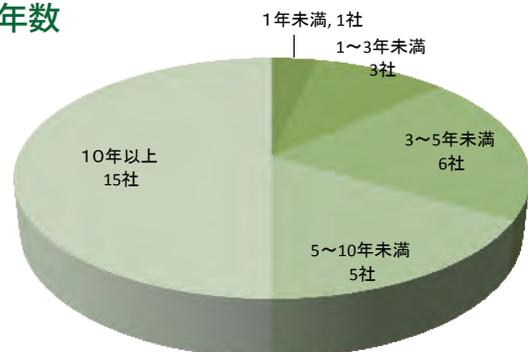
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計 9,568,678 千円

雇用者合計 30社 69人

1-2-1

SIC-2 (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

＜企業＞

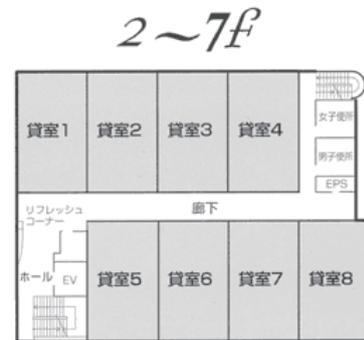
- ・創業期を経てさらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・優れた技術・サービスを保有し、株式公開を目指す企業
- ・企業の研究開発部門

＜産学連携企業等＞

- ・産学連携による事業化を目指し、共同研究開発を行うグループ、企業、研究者等
- ・大学発の技術を活用し、事業化を目指すグループ、企業、研究者等
- ・大学研究室



1階平面図

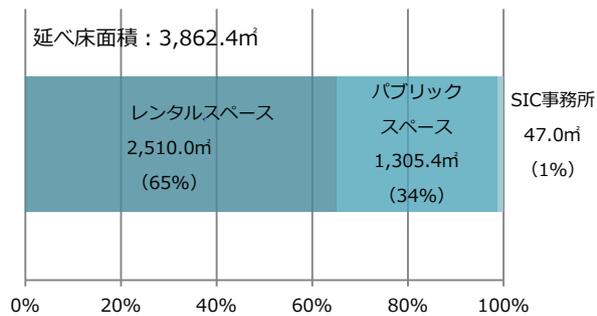


2～7階平面図

入居期間

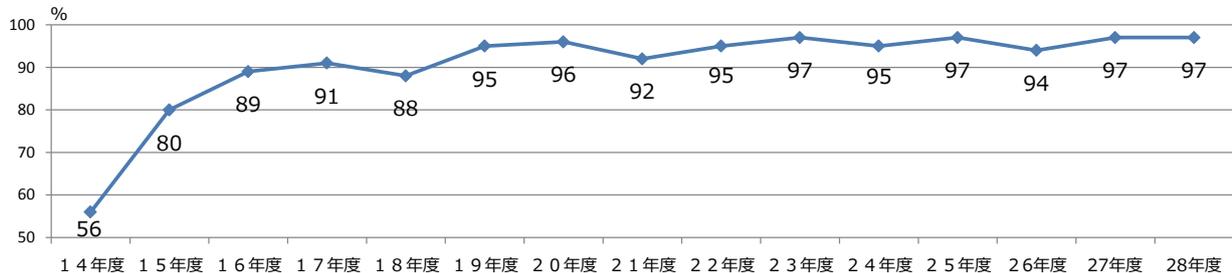
期間制限なし

施設概要



	セミラボ	オフィス
設置階	1～4階	5～7階
部屋数	26室	24室
床面積	50.2㎡	50.2㎡

入居率 (賃料ベース)

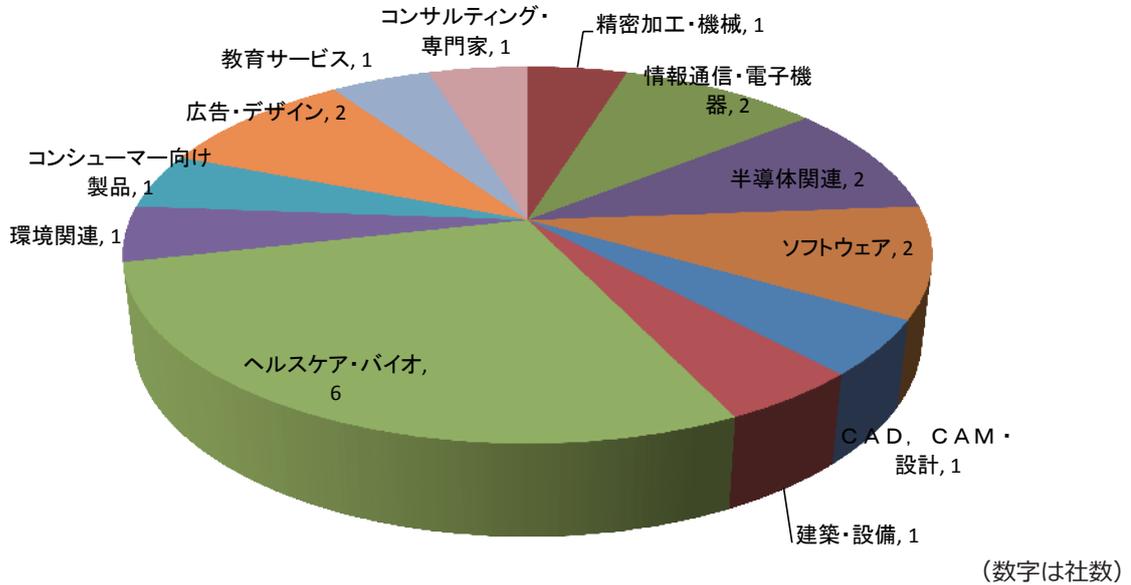


1-2-2

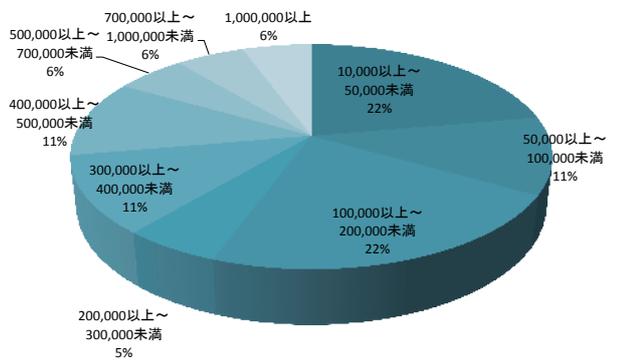
S I C - 2

入居企業データ (平成29年3月期)

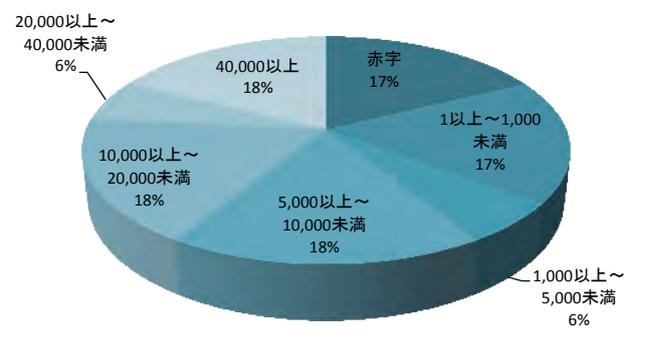
業種



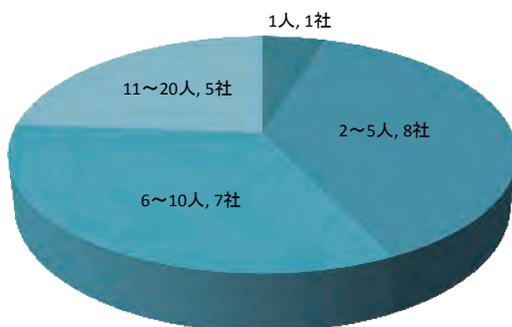
売上高



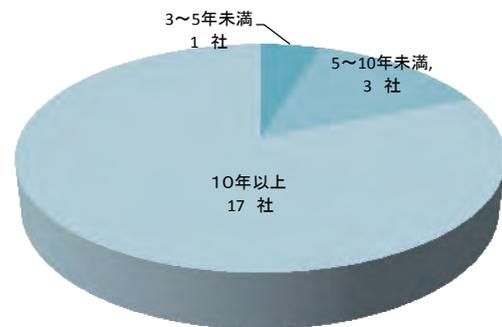
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計	16,088,907 千円
雇用者合計	21 社 155 人

1-3-1

SIC-3 (イノベーションラボ)

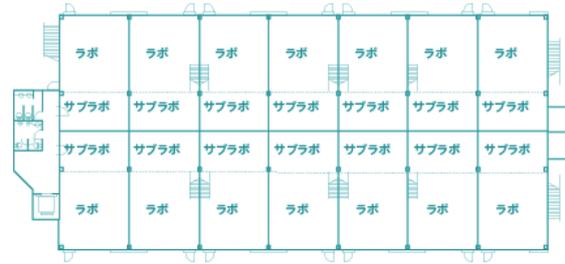
入居対象

<企業>

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、更なる規模拡大を目指す企業
- ・独創的な技術により、更なる規模拡大を目指す地域の中小起業

<産学連携企業等>

- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究開発を行うグループ

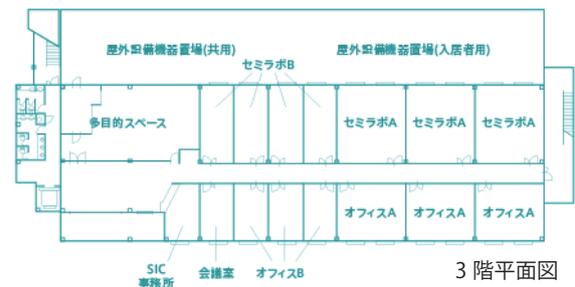
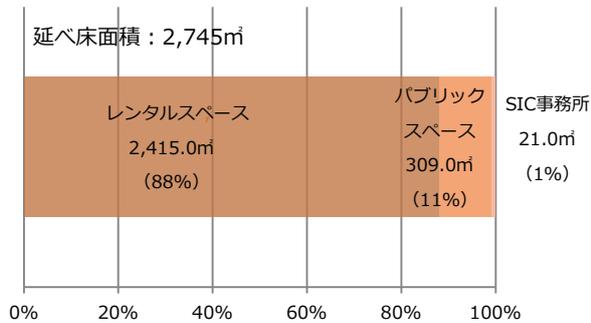


1階, 中2階平面図

入居期間

5年間 (再契約可能)

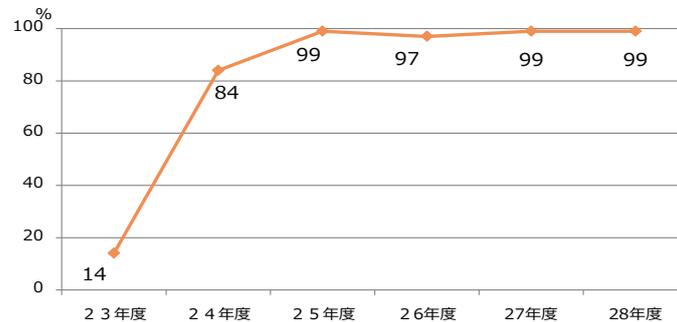
施設概要



3階平面図

	ラボ	セミラボA	セミラボB	オフィスA	オフィスB
設置階	1階 : 中2階			3階	
部屋数	14室	3室	3室	3室	3室
床面積	84㎡ : 28㎡	56㎡	28㎡	42㎡	21㎡

入居率 (賃料ベース)

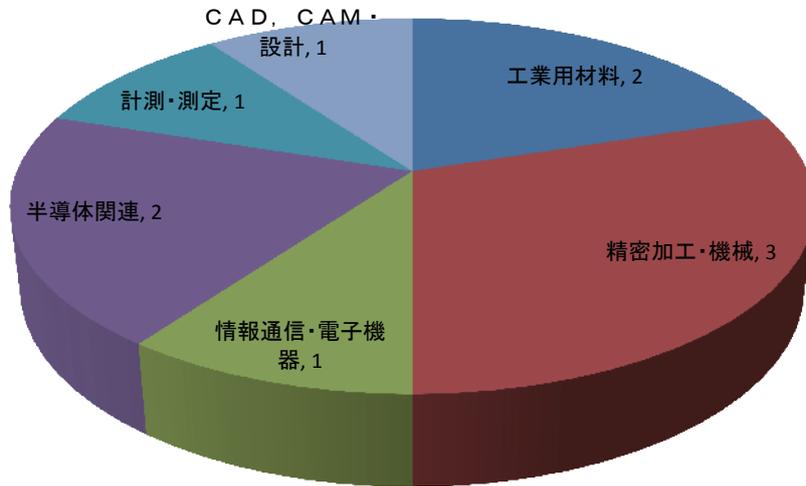


1-3-2

SIC-3

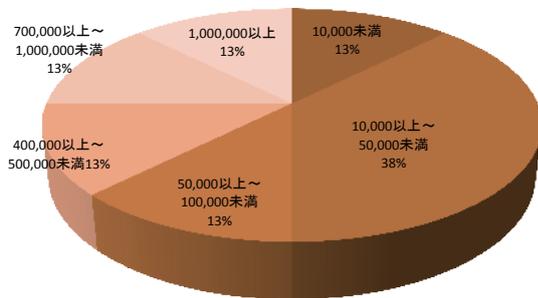
入居企業データ (平成29年3月期)

業種



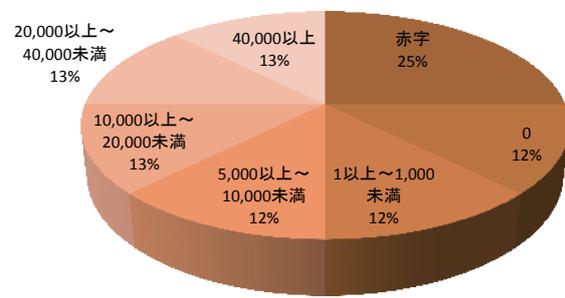
(数字は社数)

売上高



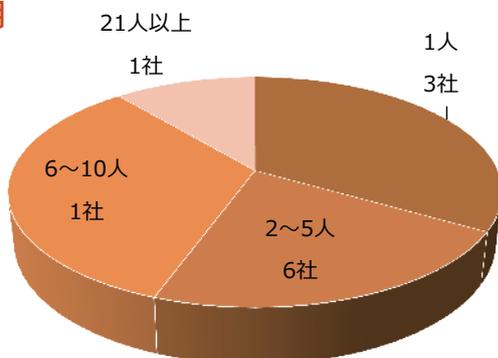
単位：千円

最終利益 (税引き後利益)

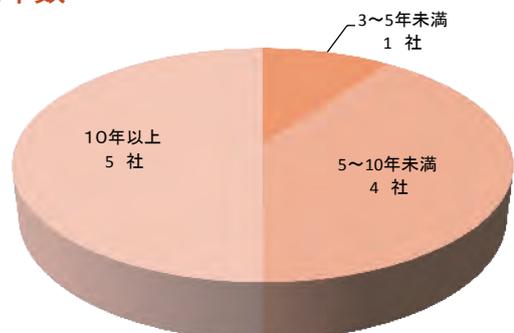


単位：千円

雇用



創業年数



売上高合計 2,982,997 千円

雇用者合計 10社 79人

1-4

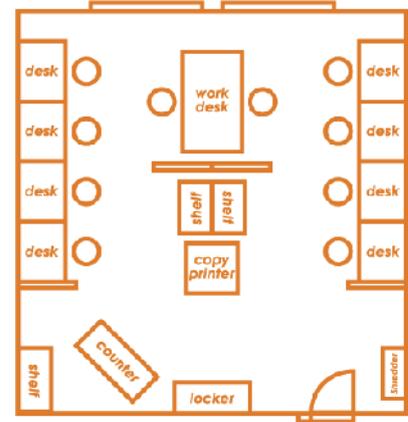
Desk¹⁰ (インキュベーション型シェアードオフィス)

Desk¹⁰とは

Desk10 (デスクテン) は創業者または創業準備中の方などがビジネスに必要な機能を他の会員とシェアすることでオフィスがリーズナブルに利用できるサービスです。事務機器や会議室なども利用できて、住所使用も可能。しかも、サービスを提供するのは15年以上にわたるインキュベーション施設を運営しているSICで、経験豊富なインキュベーションマネージャーも常駐しています。

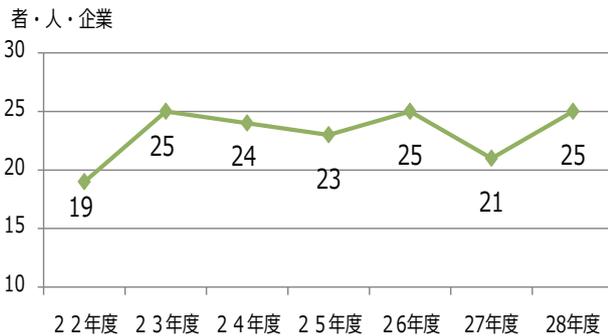
各種サービス

デスク(フリーアドレス)、ワークスペース、オフィス機器、住所使用、専用ロッカー、打ち合わせ・商談スペース、リフレッシュルーム、貸し会議室

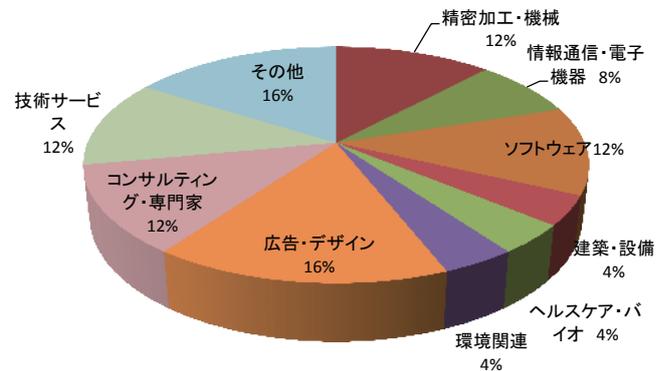


オフィス平面図

入居者数



業種

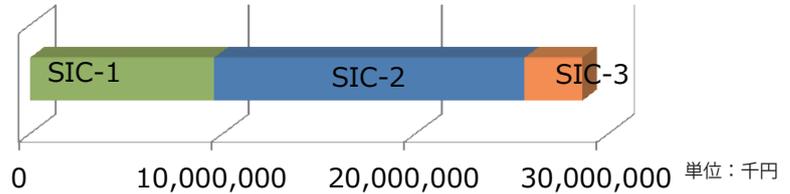


1-5

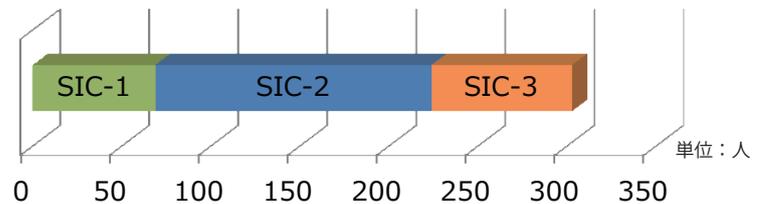
S I C 全体

入居企業データ (平成29年3月末)

売上高 28,640,582 千円



雇用 303 名



知的財産 (平成28年度内)

	特許		実用新案		意匠		商標	
	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数
出願数	9	19	1	1	0	0	1	1
うち海外	2	2	0	0	0	0	0	0
権利化数	5	16	0	0	0	0	1	1
うち海外	1	9	0	0	0	0	0	0

研究開発補助金 (平成28年度内) 6社 7件

中小企業IoT化推進事業、平成27年度ものづくり補正、商業・サービス競争力強化連携支援事業、平成28年度システムインテグレーター育成補助金、平成28年度中小企業経営支援等対策補助金、ものづくり補助金、平成28年度戦略的基盤技術高度化支援事業

展示会出展 (平成28年度内) 19社 38件 (海外開催含む)

人とくるまのテクノロジー展、TECHNO-FRONTIER2016 (モータ技術展)、第1回 Drink JAPAN、接着・接合 Expo、テクノメッセ東大阪 2016、フロンティア 21 エレクトロニクスショー 2016、HS バイオインターフェース、BIO-Europe2016、BioJapan2016、BIO-Asia2017、CPhI Japan、CPhI Worldwide、CPhI China、日本臨床獣医学フォーラムA、エレクトロテストジャパン、Sensor Expo&Conference、日本金属学会 春期 / 終期講演会、軽金属学会 春期 / 秋期大会、日本顕微鏡学会 学術講演会、センサーエキスポ、テクノフロンティア、M-TECH(機械要素技術展) 東京、ウェアラブル EXPO、日本香粧品学会、テクニカルショウヨコハマ 2017、国際画像機器展、アグロイノベーション、高機能金属展、ALD2016 Ireland、低温工学・超電導学会、Asian ICMC、加速器学会 年会 企業展示会、中小企業新ものづくり・新サービス展、高機能フィルム展、さいたまビジネスアリーナ、高機能フィルム展、OPIE17、OPIE16、Photonix2016 等

新製品・新サービス (平成28年度内) 13社 19件

100KW車載用インバータ、アルミボード精密秤量用、Z-40 微細加工用消泡剤、症例データベース、WEB診断サービスII、スマートファクトリーJapan (展示会)、モノづくり企業CM大賞 (TV番組)、55プランサイト制作サービス、ECCI 用ダブルティルトステージ、プロダクトデザイン業務、電気設計業務、地域企業ITサポート、ラインLED SPX-7A200、SLG-150HSP、LED光源 SLG-165V、レーベルケーブル 細線テープ線材、異物検出装置、バックライト

2-1

経営サポート

企業支援

事業の目的

創業や新分野進出に意欲的な入居企業や地域企業の様々な経営課題を解決する。

▶ 経営課題支援の内容

対 象：入居企業・地域企業

支援手法：インキュベーションマネージャーとメンター、アドバイザー、専門家等が連携した支援

協力機関：八千代銀行

支援契約数：業務委託契約 38 社、顧問契約 15 社（入居企業 11 社、地域企業 4 社）

支 援 内 容		入居 企業数	地域 企業数	計
顧問契約		11 社	4 社	15 社
業務委託契約	事業計画	2 社	1 社	3 社
	補助金申請・進捗管理支援	2 社	2 社	4 社
	WEB制作	—	7 社	7 社
	会社案内制作	—	2 社	2 社
	サービス案内制作	—	1 社	1 社
	ロゴ制作	—	2 社	2 社
	名刺制作	—	1 社	1 社
	カイゼン・工場監査支援	—	1 社	1 社
	自動化診断	—	2 社	2 社
	計	15 社	23 社	38 社

2-2-1

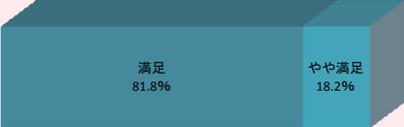
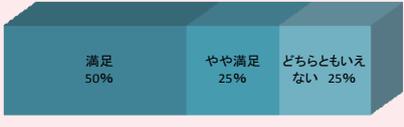
経営サポート

セミナー (1)

事業の目的

入居企業や地域企業に経営のヒントを提供する。

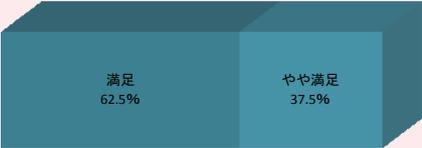
対 象：入居企業・地域企業

実施事業	参加人数	具 体 的 内 容
経営者セミナー	100名	<p>テーマ：下町工場の「おもてなしの心」による新しいモノづくりへの挑戦 講 師：浜野 慶一氏（株式会社浜野製作所 代表取締役） 日 時：平成 28 年 11 月 18 日（金） 場 所：ユニコムプラザさがみはら （セミナールーム 2）</p> 
ミニセミナー	20名	<p>The HINT 29 テーマ：商談を“次につなげる秘訣”とは？～顧客視点のコミュニケーションを学ぶ～ 講 師：Stan Communications 代表 松尾 由紀子氏 日 時：平成 28 年 7 月 20 日（水） 場 所：さがみはら産業創造センター</p> 
	14名	<p>The HINT 30 テーマ：会社の未来を描く“税理士の視点”～税理士との付き合い方が経営を変える！！～ 内 容：第 1 部 基調講演「税理士の視点を経営に活かす！」 第 2 部 パネルディスカッション「税理士・金融機関との付き合い方」 講 師：天野俊裕税理士事務所 代表 天野 俊裕氏 株式会社さがみはら産業創造センター 代表取締役 橋元 雅敏氏 日 時：平成 28 年 10 月 12 日（水） 場 所：さがみはら産業創造センター</p> 
	7名	<p>The HINT 31 テーマ：他社との“連携”で市場を拓け！！～ここだけは押さえない！“連携”のポイント～ 内 容：第 1 部 基調講演「大手企業との連携のポイント」 第 2 部 パネルディスカッション「技術を売上につなげる連携の形」 講 師：株式会社日本能率協会コンサルティング 技術戦略センター チーフ・コンサルタント 池田 裕一氏 ARM Technologies 株式会社 代表取締役 荒木 紀歳氏 日 時：平成 28 年 11 月 28 日（月） 場 所：さがみはら産業創造センター</p> 

2-2-2

経営サポート

セミナー (2)

実施事業	参加人数	具 体 的 内 容
ミニセミナー	11名	<p>The HINT 32 テーマ：雇用を始める前のチェックポイント～知っておきたい労働法の“基礎のキソ”～ 講 師：かながわ労働センター 県央支所 主幹 安藤 昭一 氏 日 時：平成 29 年 2 月 8 日 (水) 場 所：さがみはら産業創造センター</p> 
	7名	<p>The HINT 33 テーマ：事例で学ぶ！！ 失敗しない“契約”の結び方～知っておきたいビジネスと法律の関係性～ 講 師：弁護士法人 高瀬総合法律事務所 代表弁護士 高瀬 芳明 氏 日 時：平成 29 年 3 月 15 日 (水) 場 所：さがみはら産業創造センター</p> 

2-3

技術開発

SIC 燃料電池研究会

事業の目的

燃料電池及び新エネルギー関連分野に係わる産学官連携や企業間連携体を構築し、研究開発成果の事業展開に向けたプロモーションを推進するとともに、展示会などへの出展や情報発信を行うことで、ビジネスチャンスの発掘と事業の拡大を図る。

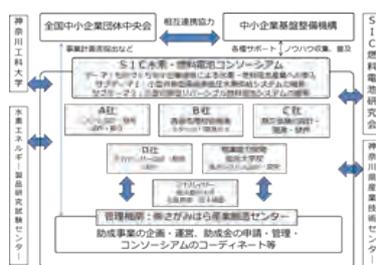
事業概要

1. 家庭用燃料電池周辺機器開発プロジェクト

- 家庭用燃料電池『エネファーム』周辺機器開発やシステムメーカーへのスペックイン（地域企業の PEFC システムメーカー 1 社及び SOFC システムメーカー 3 社への参入支援を実施。）

2. 燃料電池システム開発プロジェクト（可搬型燃料電池システムの開発など）

- 平成 28 年度ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業（中小機構・全国中央会）最終年度に継続採択され、昨年度より手がけた小型可搬型リバーシブル燃料電池システムの開発を開始した。



SIC 水素・燃料電池コンソーシアム構成



システムの仕様



リバーシブル燃料電池発電試験の様子

3. SIC 低炭素プロジェクト

- 平成 21 年度経済産業省低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業の応用研究当事業における成果を SIC 水素・燃料電池コンソーシアムに反映

4. 販路開拓プロジェクト

- 研究会活動における開発成果や関連する自社製品を市場へと結びつける仕組みを検討。会員企業及び会員協力企業との連携により用途開発への展開を実施した。日本フィルコン(株)が研究会成果を応用した「自立型水素発電・飲料水供給システム HydroX」を商品化し販売を開始。日刊工業新聞社主催のスマートコミュニティ 2016 展へ SIC 水素・燃料電池コンソーシアムと共同出展した。

28年度の成果

今年度会員数：民間企業 12 社（27 名）2 大学 1 公設試が参画
（H27 年度 13 社より 2 社退会、1 社新規参加）

【プロジェクト成果】

- 平成 28 年度研究会活動概要説明会実施
- 第 1 回全体合同研究会活動実施
- スマートコミュニティ 2016 展へ招待出展
- エコプロ 2016 展への出展
- 第 2 回全体合同研究会活動実施

	大手企業	中小企業	大学・公設試
市内	0	1	0
市外	5	6	3

2-4

技術開発

かながわ環境関連産業ネットワーク事業

事業の目的

環境関連産業の多様な担い手が、自主的に参加できる新たなネットワークを構築し、専門コーディネータによる起業・事業化支援策の紹介やビジネスマッチングなど、様々な取り組みを総合的に展開することにより、環境関連産業の更なる振興を図る。

▶ 事業概念



▶ 活動概要

H23年度より神奈川県内外より広く募集している、かながわ環境関連産業ネットワーク会員から、関連するものづくり開発テーマを募集し、クローズな発表会やグループミーティングなどに有力候補を絞り込み、共同開発プロジェクトの組成・公的資金申請を計画し、以下5プロジェクトへの支援と成果を得た。

- ・エネファーム補機開発プロジェクト
- ・エネファーム試作機開発への参入
- ・県内有力国立大学及び関連企業との連携
- ・大学発ベンチャー企業の成長支援
- ・水素・燃料電池コンソーシアムの継続採択による活動



▶ 28年度の成果

○ネットワーク会員 161名（昨年度 143名）を確保。昨年度から 18名の増員となった。

○第11回 創・蓄・省エネフォーラム（参加者：初日：14名 二日目：12名）

開催日時：平成28年8月31日（水）～9月1日（木） 2日間

開催場所：職業能力開発総合大学校

講師：職業能力開発総合大学校 教授 清水 洋隆 氏

内容：太陽光発電の発電計測やパワコンの運転試験、マイクロ燃料電池（MEA）の作成・発電試験、蓄電池の基礎、風力発電などの評価を体験して頂くための技術習得講座を開催。

- ①太陽光発電（太陽光発電の基礎、発電実験、パワーコンディショナの運転試験）
- ②風力発電（風力発電の基礎、発電実験）
- ③燃料電池（燃料電池の基礎、MEAの製作、燃料電池の発電特性試験）
- ④二次電池（二次電池の基礎）



第11回創・蓄・省エネフォーラムの様子

○第12回 創・蓄・省エネフォーラム（参加者：40名）

開催日時：平成29年2月21日（火）

開催場所：サン・エールさがみはら

内容：『再生可能エネルギー電力の地産地消について』をテーマに下記の講演を実施。

- ①『環境エネルギーベンチャー企業 水素・燃料電池産業参入への挑戦』
湘南電力株式会社 企画営業課 藤田 雅大 氏
- ②『FCVの開発と普及拡大に向けた動向及び新規参入のポイント』
株式会社ER SYSTEMS 代表取締役 原 真吾 氏
- ③『FCVの開発と普及拡大に向けた動向及び新規参入のポイント』
技術研究組合FC-Cubic 専務理事 大仲 英巳 氏



第12回創・蓄・省エネフォーラムの様子

2-5

技術開発

さがみはら表面技術研究所

事業の目的

地域企業と大学・研究機関の連携・交流機能を整備・運用し、企業の技術的な強みを活かした事業開発に貢献する。

▶ 活動実績

	活動内容	件数
1	技術相談・コーディネート・技術支援等	109
2	交流会・イベント開催	3
3	広報活動（講演・メディア掲載・ラジオ出演等）	11
	合計	123



▶ 活動実績 事例

1. 技術相談・コーディネート・委託業務等

- ①ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等補助金に係る補助金（平成 27 年度補正・中小企業庁）では、各中小企業向けに申請書の作成支援、採択後は事業開発のアドバイスや事業推進のサポートを行った。支援した企業は、金属加工業・建設業・菓子製造・機械製造・環境サービス会社など多岐にわたった。
- ②国土交通省「建設企業等のための経営戦略アドバイザリー事業」ステップアップ支援を活用し、マンション等大規模修繕事業を受託する企業における各種国家技能資格を取得する育成プログラムの構築及び推進の支援を行った。
- ③関東経済産業局と地域金融機関等が共同し、課題を抱える中小企業と企業を退職された実務経験豊富なシニアの方々との人材マッチングの新現役交流会において、アドバイザーとして支援を行った。
- ④農作物のカラスによる被害を防止するためのドローンを活用した試験事業で、ドローンに組み込む鷹の模型制作を行った。
- ⑤洋風焼き菓子の製造ラインにおける包装・保存条件の設定する際に、官能・静菌・ガス濃度試験などを行い、賞味期限の設定や品質管理における技術アドバイスを実施した。
- ⑥東北大学流体科学研究所と共同研究を行い、国際学会にて成果を発表した。
（International Conference Flow Dynamics 『Quantum Molecular Analysis for growth of carbon related thin films』）次年度も継続して産学官連携のコラボレーションにより実施の予定。
- ⑦書籍文章等レイアウトやカレンダーのデザイナーに新事業創出のためのマーケティング手法等についてアドバイスを行った。
- ⑧市内中学生の職業体験を受け入れた。事業説明のほか白衣を着て各種顕微鏡等の操作を行う研究所体験を実施し、科学に苦手意識を持つ学生からも好評を得た。
- ⑨南西フォーラム支援事業では、延べ 17 社の相談案件に携わり、技術アドバイスやコーディネート支援等を行った。



2. 交流会・広報活動（講演・メディア掲載・ラジオ出演等）

立教大教授・山口義行氏が主宰する、中小企業サポートネットワーク Small Sun 配信のインターネットラジオでパーソナリティを務め、様々なものづくり企業を紹介している。
<http://ss-ir.blogspot.jp/search/label>

大学・学会や各種企業団体での講演に招聘され、表面研の活動を通して、オープンイノベーションや事業発展におけるコミュニケーションの大切さ等について紹介した。大学では経営学の教養課程の学生向けに「自由な創造力とコミュニケーション力を生かすものづくり新事業創出」というテーマで行った。



2-6-1-1

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業（フォーラム）

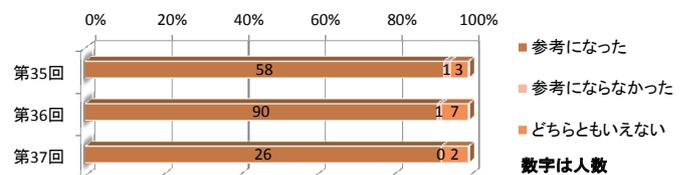
事業の目的

相模原市を中心とした神奈川県県央地域及び町田市、八王子市に広がる首都圏南西地域において、企業、大学・研究機関、金融機関及び支援機関の広域連携の場として首都圏南西地域産業活性化フォーラムを開催し、さらには、産学官連携による分科会・研究会の推進や情報提供を通じ、新事業の創出や技術の高度化などによる地域産業の活性化を目指す。

参加者数

南西フォーラム	
第35回	106名
第36回	245名
第37回	136名
計	487名

顧客満足度



顧客の声

- ・大手企業が取り組むオープンイノベーションの情報が貴重であった
- ・ロボットの最先端技術や応用可能性を知ることができた
- ・相模原市のロボット産業への支援体制が充実していることが素晴らしい
- ・他業種との連携や取り組み事例が参考になった
- ・南西フォーラムは連携の重要なプラットフォームになる

概要

南西フォーラム

第35回 平成28年7月29日

新たなビジネスパートナーとの技術開発・販路開拓～新しいマッチング手法の活用によるビジネス創出～

- 「あなたの技術と世界の技術を結びつけます」(株)ナインシグマ・ジャパン 代表取締役 諏訪 暁彦氏
- 「ものづくりパートナー探索『リンカーズ』」リンカーズ(株) ディレクター 長友 理恵氏
- 「Webを活用して国内外への販路開拓を」(独)中小企業基盤整備機構 販路支援部 参事(マッチング事業統括) 樋口 光生氏
- 「中小企業の海外展示会出展支援の取り組み」(公財)相模原市産業振興財団
- 「南西サポート事業におけるビジネスマッチングの取り組み」(株)さがみはら産業創造センター

第36回 平成28年10月7日

ヒトとロボットが協働する未来社会～最先端ロボットテクノロジーが拓く豊かな社会の実現に向けて～

- 「ヒトとロボットが協働する未来社会」スタンフォード大学 コンピューターサイエンス学部 教授
ロボティクス研究所 ディレクター ウサマ・カティブ (Oussama Khatib) 氏
- 「ロボットの未来」東京大学 名誉教授 フューチャーセンター推進機構 ロボット化コンソーシアム 佐藤 知正氏

第37回 平成29年2月27日

南西ビジネス交流会 in 町田

- 「農商工連携による新たな地域ブランドの創出」株式会社まちだシルク農園
代表取締役 林 大輔氏 (大浩研熱(株)代表取締役)、開発メンバー 斎藤 之良 氏 ((株)志成データム 代表取締役)
事業化支援者 高井 大輔 氏 ((合) プラナス 代表)
ファシリテーター 野村アグリプランニング&アドバイザー(株) 取締役社長 西澤 隆 氏

2-6-1-2

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業（フォーラム）

南 西 フ ォ ー ラ ム	○分科会 A 「相模原・町田の大学・高専との技術・人材・設備の連携を探る」分科会
	A-1 「サレジオ高専の産学連携の取り組みについて」 サレジオ工業高等専門学校
	A-2 「地域に根ざして半世紀ー東京高専の産学連携ー」 東京工業高等専門学校
	A-3 「青山学院大学理工学部の産学連携の取り組み」 青山学院大学
	○分科会 B 「相模原・町田の企業との異業種連携を探る」分科会
	B-1 「光と漆と金属の融合による装飾照明の開発」 株式会社オプトデザイン
	B-2 「社会インフラ維持管理のためのシステム開発」 ステラ技研株式会社、ユタカ精工株式会社
	B-3 「『やっちゃん町田!』 新しい異業種交流のかたち」 町田商工会議所工業部会
	○分科会 C 「町田市企業発信シーズ・ニーズとの連携を探る」分科会
	C-1 「産業用ドローンへの取り組み」 東京航空計器株式会社
	C-2 「首都圏南西地域でのハラルビジネス推進」 株式会社ハラル・クオリティ・ラボラトリー
	C-3 「人工知能（AI）が創出する新たな価値と連携」 株式会社アジラ

2-6-2

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業（分科会）

事業の目的

相模原市を中心とした神奈川県県央地域及び町田市、八王子市に広がる首都圏南西地域において、企業、大学・研究機関、金融機関及び支援機関の広域連携の場として首都圏南西地域産業活性化フォーラムを開催し、さらには、産学官連携による分科会・研究会の推進や情報提供を通じ、新事業の創出や技術の高度化などによる地域産業の活性化を目指す。

参加者数

業務系アプリ研究会		IoT分科会		iPS細胞ビジネス分科会		事業承継分科会	
第11回	21名	第1回	15名	第3回	13名	第1回	10名
		第2回	15名			第2回	11名
		第3回	15名			第3回	11名
		第4回	15名				
計	21名	計	60名	計	13名	計	32名

	開催日	内容
業務系アプリ研究会	第11回 平成28年4月15日	・相模原市から「実用化コンソーシアム事業」の概要説明 ・3か年計画、役割分担について検討
	第1回 平成28年10月13日	IOT分科会の進め方：産官学でのすり合わせ
IoT分科会	第2回 平成28年11月11日	IOT関連技術に関する勉強会（進め方に関する意見交換を含む）
	第3回 平成28年12月14日	サレジオ高専推進の「農業関連IoT技術開発」の紹介
	第4回 平成29年2月23日	平成29年度に向けての具体的な進め方（計画立案のためのディスカッション）
iPS細胞分科会	第3回 平成28年11月25日	・東海大学の研究活動 研究推進部 部長 山口 滋 氏 ・東海大学医学部の研究の取り組み 伊勢原研究推進部 部長 秦野 伸二 氏 ・医工連携事例1「医工連携が支える再生医療とリハビリテーション」 医学部 整形外科学 教授 佐藤 正人 氏 ・医工連携事例2「マイクロ流体デバイスとiPS細胞を用いた脳神経疾患研究」 医学部 基礎医学系 分子生命科学 助教 大友 麻子 氏 ・東海大学湘南キャンパス内施設見学
	第1回 平成28年9月27日	本当は怖い財産相続の話～知らなきゃ損する財産相続～ 事業承継センター株式会社 取締役 COO 金子一徳 氏
事業承継分科会	第2回 平成28年10月25日	これから始める！いちばんやさしい事業継承入門 事業承継センター株式会社 代表取締役 CEO 内藤 博 氏
	第3回 平成28年11月22日	後継者の選び方・育て方・渡し方 事業承継センター株式会社 取締役 CMO 東條 裕一 様

2-7-1

技術開発

産業用ロボット導入支援事業

事業の目的

相模原市内企業への産業用ロボットの導入を支援し、生産プロセスの高度化による生産性向上等を図る。

概要

(1) さがみはらロボット導入支援センター

SIC-2 セミラボに設置している「さがみはらロボット導入支援センター」で、産業用ロボットの展示、簡易相談及びロボット操作教育などの業務を実施した。

○来所者実績（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月の 1 年間）

延べ延べ 497 団体、1095 名（内、製造業者：243 社）

○ロボットシステム 5 システム設置・展示

（29 年度 2 システムを追加設置）



(2) ロボット導入を具体的に検討する企業向けの相談・コンサルティング

産業用ロボット導入が進んでいない工程への導入を支援するために、ロボット導入を検討する企業への簡易自動化相談及び自動化診断などの活動を実施した。

活動内容	企業数	市内企業数	市外企業数
簡易自動化相談 さがみはらロボット導入支援センターでの相談	22社	15社	7社
自動化診断 工場の自動化診断を経て、ロボットによる自動化システム、作業改善・工程改善による生産性向上施策などの提案	7社	2社	5社
開発を伴う案件の相談・コンサルティング	9社	9社	—
導入ニーズ調査・ロボット導入候補企業の新規開拓	8社	4社	4社
産業用ロボット導入企業の事例調査	10社	10社	—
	内3社について事例動画を制作		

(3) カイゼン支援事業

中小製造業の中堅エンジニアを対象に、自動化や省人化を進める上での知識や考え方などについて学ぶ「自動化・省人化支援セミナー」、「生産性向上のためのIEセミナー」を開催。

受講者数：自動化・省人化支援セミナー（2日間）延 42 名、

生産性向上のためのIEセミナー（1日）19 名

開催会場：さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室 ほか

講師：大学研究者やメーカー技術者



2-7-2

技術開発

産業用ロボット導入支援事業

(4) ロボット技術者育成事業

産業用ロボットの導入を検討している企業のエンジニアを対象に、産業用ロボット導入に必要な基礎的な技術講座として、安全教育及び基本的な操作やプログラミングを学ぶ「ロボット操作教育セミナー」について、基礎コースと実習コース（計4日）を開催。

受講者数：基礎コース（2日間）延 18 名、実習コース（2日間）計 8 名

講師：基礎コース 三菱電機システムサービス株式会社

実習コース 株式会社メディアプラス・有限会社中村電機



(5) システムインテグレータ育成事業

システムインテグレータ育成を目的に、トヨタ自動車が開発 / 製造している生活介護支援ロボット HSR を使用して、オープンソースによるロボット制御プログラミングの先端的な知識と開発能力を玉川大学岡田研究室において習得し、その成果を市内介護福祉施設で実証実験を実施し、市内関連企業での共有を図りました。

○HSR 実証実験について

日時：平成 29 年 3 月 23 日（木） 13：00～15：00

場所：社会福祉法人相模福祉村 特別養護老人ホーム「縁 JOY」

参加者数：相模福祉村（縁 JOY）、玉川大学、さがみはら IT 協同組合など 17 名



2-8

人材育成

SIC 経営塾

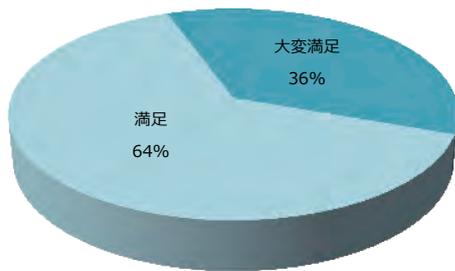
事業の目的

先端的なケーススタディを通じ、経営の理論と実践を学び、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的とする。

▶ 受講生

- ・ 13名 累計 140名
- ・ 次世代の経営者や経営幹部の受講生が多い

▶ 顧客満足度



▶ 顧客の声

- ・ 充実したプログラムで体系的に学ぶ事ができました。
- ・ 自分たちだけでは気づけなかったことを知るきっかけになりました。
- ・ 自社の現状を把握した上で目標設定できたことが、とても役に立ちました。
- ・ 様々な業種の会社やそれぞれの課題を知り、厳しい環境下で努力しているのが自社だけではないことを感じました。
- ・ 経営に関する考え方などをわかりやすく説明してもらい、実際に自社で活用できたこともありました。

▶ 活動内容

講義

最先端の経営理論を学びます。

- 先端企業経営者の実体験や様々な先進的な取り組み事例を通して最新の経営理論と実例を学び、自社の課題に置き換えて検証します。



討論

塾生、コーディネータとの討議を重視します。

- 課題図書、事例研究を基に、異業種の方々ととの討論が自社を見つめ直し、自社の事業構想を構築する良い機会となるでしょう。



事業構想の再構築

最終ゴールは自社の事業構想の再構築です。

- 実証的な研究や討論を通し、自社を客観的に見つめ直し事業構想を策定し、自社における「NEXT STAGE」を考えます。



■カリキュラム:

回	課題シート・講義内容
1	オリエンテーション
2-3	わが社の経営の現状を語る (1泊2日合宿)
4	現状を分析する
5	存在意義を問う
6	コアコンピタンスを定義する
7	戦略シナリオを考える
8	財務構造を改善する
9	組織文化の変革を仕掛ける
10	ビジネスプランを練り上げる
11	わが社の経営の将来を語る (自社の事業構想の発表)

2-9

人材育成

SIC 職場リーダー養成塾

事業の目的

地域企業の様々な職場リーダーとの他流試合を通じてコミュニケーション力と課題解決力を養う。

▶ 受講生

20名 累計 159名

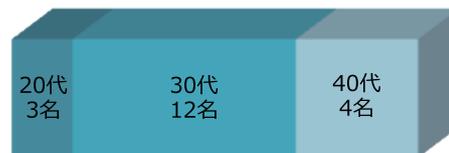
▶ 顧客満足度



▶ 顧客の声

- ・職場リーダーとしての客観的な視野・思考が身に付いた
- ・異業種の方との気兼ねない意見交換ができた
- ・個ではなく組織で取り組む重要性を知った
- ・社内に持ち帰って即実践できる研修であった
- ・時間管理に対する意識が高まる非常に内容の濃いプログラムであった
- ・部下や上司を巻き込んで物事を進めるためのコミュニケーション力を学んだ
- ・実行計画作成の重要性を理解した

▶ 受講生の年齢構成



▶ カリキュラム

	開催日	内容
1	平成28年6月4日	オリエンテーション・職場のコミュニケーション①
2	平成28年6月15日	課題解決の枠組みを理解する 職場の問題を抽出する
3	平成28年6月22日	
4	平成28年7月4日	職場のコミュニケーション②
5	平成28年7月13日	職場の課題解決①（問題把握、課題設定、目標設定、対策検討、実行計画）
6	平成28年8月上旬	課題解決取り組みフォロー（個別指導1回目）
7	平成28年9月7日	職場の課題解決②（問題把握、課題設定、目標設定、対策検討、実行計画）
8	平成28年9月下旬	課題解決取り組みフォロー（個別指導2回目）
—	9月下旬～11月下旬	社内実践期間
9	平成28年12月4日	成果発表会



2-10

人材育成

SIC カイゼン・スクール

事業の目的

企業が全社展開し、継続して実施することで経営体制の強化に結びつく“カイゼン活動”を受講生が体系的に理解し、研修を通して自社内における課題を抽出してその解決に向けたカイゼン活動により「小さな成功」を生み出すことを目的とする。

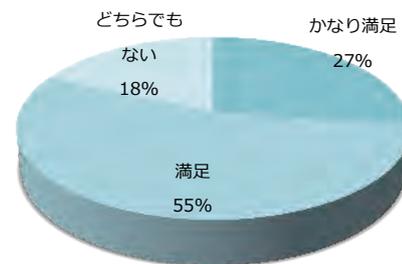
▶ 受講生

- ・ 17名 累計 60名
- ・ 製造業の現場リーダー層を対象としています

<受講した企業の業種>

伸銅品製造、機械部品製造・組立、
金属表面処理加工、オフセット印刷、
無線機販売・レンタル、電気通信工事 など

▶ 受講生の満足度



▶ カリキュラム

日程	講義内容	
7月下旬~8月下旬	現場訪問	受講企業様の会社をカイゼン・マイスターが訪問し、現場診断とスクール受講の事前ヒアリング
9月3日(土)	オリエンテーション カイゼンの全体像	スクール開催のオリエンテーションとカイゼン活動の目的、カイゼンの全体像についての講義
9月17日(土)	講義・ グループワーク①	カイゼンの手法について講義とグループワーク
9月29日(木)	現場実習①	先端的なカイゼン活動を行っている現場を見学
10月15日(土)	講義・ グループワーク②	カイゼン活動に必要な標準化などについて講義とグループワーク
11月2日(水)	現場実習②	他社の工場を見学し、それまでに学んだカイゼンの手法によるカイゼン提案を実施
11月19日(土)	カイゼン計画書 ブラッシュアップ	品質管理についての講義及び成果発表会で報告するカイゼン計画書のブラッシュアップ
12月3日(土)	成果発表会	スクール開講時に設定した自社の現場での課題について、その解決に向けた「カイゼン計画書」をスクール受講の成果として各自発表。

▶ 修了生の声

- ・ 講義、グループワーク、現場実習等のプログラムがバランス良く組み立てられており、最後まで高いモチベーションで受講することができました。
- ・ 現場実習での実際にカイゼン活動に取り組んでいる工場の見学、他の受講生の成果発表などを通して、他社のカイゼン活動を知る機会となり、とても勉強になった。
- ・ スクールを受講したことにより、カイゼンの進め方、取り組み方、大切さを学ぶことができ、大変役に立ちました。特に、事例を交えた講義は聞き応えがありました。
- ・ 今後はカイゼン・スクールを受講していない各部門のリーダー層にスクールを受講してもらい、カイゼンに対する意識向上の底上げになればと思う。



講義

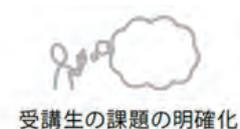


現場実習



グループワーク

▶ スクールの内容



受講生の課題の明確化

事前の現場診断、ヒアリングによって自社の課題と解決の方向性を受講生自身で明確化させます。



講義・現場実習

講義や現場実習を通じてカイゼン活動の体系、考え方を学び、設定した課題の解決方法を探ります。



カイゼン計画書

会社の経営方針に基づき、設定した課題解決に向けて、学んだカイゼン手法を取り入れた具体的な実施計画書を策定、成果報告会で発表します。



事前現場診断、講義・現場実習の講師は
(株)カイゼン・マイスターのアドバイザーです。

2-11

人材育成

みんなで一人前の社会人になる研修

事業の目的

同じ地域の他社の新入社員との研修や交流を通じて、同期としての信頼関係の構築を図る。そして、普段の何気ないコミュニケーションを通じて、プラス思考の高いモチベーションを身につけ、定着率の向上、早期の戦力化の実現を目指す。

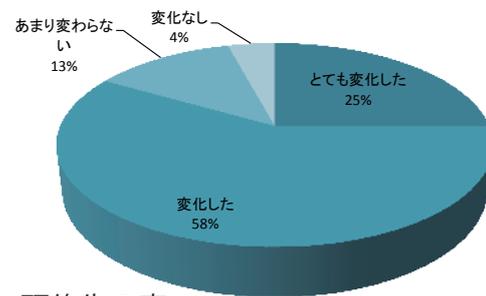
▶ 受講生

- ・ 6名
- ・ 平成 28 年度新入社員を対象としています。

▶ カリキュラム

日程	カリキュラム	情報交換会
4月7日(木)	0.オリエンテーション アイスブレイク、自己紹介、1年目の抱負 1.働くとは?... 学生から社会人へ 社会人としての心得、学校と職場の違いなどの講義を通じて、学生から社会人へと意識を切り替えていただきます。 2.実践! ビジスマナー 挨拶、電話応対、名刺交換、メール対応など、職場での事例をもとにロールプレイングを通じて実践的に学んでいただきます。	○
4月8日(金)	3-「(マイナス)を+(プラス)に変える発想法 ゲームやグループワークを通じて、多様な価値観の共有と尊重、プラス思考による前向きな推進力を体得していただきます。	※
6月25日(土)	4.「私の会社のイチオシ!ポイント」 自社に対する知識や理解を深め、自社を肯定的に捉え魅力的に伝える力を身につけていただきます。 講義: テーマ 「ものごとの見方、捉え方、伝え方」	○
10月29日(土)	5.先輩社員による「ぶっちゃけトーク」 社会人の先輩の困った体験や良かった体験などをもとに、グループディスカッションを通じて思考を深めていただきます。	○
2月25日(土)	6.決意表明! この1年で得た気づきや学び、2年目に向かっての夢や希望を発表していただきます。社長や上司の方にも臨席いただきます。	○

▶ 受講生の満足度



▶ 研修生の声

(二年目への抱負)

- ・ 言行一致、有言実行。言っていることとやっていることが矛盾していないこと。それが信頼や信用を生む。そこを伸ばす。
- ・ 周りを見て先を予想する。
- ・ キャパシティを上げ増やす。
- ・ 凸凹のあまり大きくない自分を作り出す。
- ・ ミスを外に持ち込まない。自分から周囲をフォローできるようにする。無遅刻無欠勤。
- ・ 常に発信することを忘れずに、多くの人に関わっていく。



働くとは?... 学生から社会人へ



-(マイナス)を+(プラス)に変える発想法

▶ 研修の様子



2-13

人材育成

SIC アントレ・インターンシップ

事業の目的

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業の企画運営を通して、『既成の固定概念に捉われることなく、新たな領域に、自ら考え出したアイデアで、失敗を恐れずに挑戦する気概に溢れた人材』とは何かを理解するとともに、実社会において社会人としてどうあるべきかを学ぶ。

▶ 参加者数 6名 累計132名

▶ 参加者の声（アントレ・インターンを一言で言うと。14期生へのメッセージ）

- ・「自分の仕事とその行動には必ず理由がある」
自分のためというよりは、みんなに迷惑をかけたくないとの思いで必死に仕事をがんばりました。いま振り返ると、それが、自分のモチベーションアップのもとになっていたと思います。長期のインターンシップは大変ですが、長期であることの意味があるのでその答えを自分なりに見つけてください。
- ・「自分の強みが発揮されて、その強みを伸ばせるインターンシップ」
私は、このインターンシップに参加したことで、“時間の大切さ”と“仲間の大切さ”を大いに学びました。さらに、仕事の目的を達成するために「何を、いつまでに、どうするのか」を考えることの大切さも学びました。この経験は私の中でとてもかけがいのないものになりました。
- ・「ひとつの仕事を任されるという貴重な体験！」
ひとつの仕事をやりきる大変さを学び、仕事に対する覚悟ができた！真剣に取り組める、学生のときにしかできないインターンシップです！
- ・「今までの自分自身がすべて出てくるインターンシップです。」
自分自身の短所、長所が実感できるインターンシップでした。足りないことが多すぎて反省すべきことばかりでしたが、楽しいこともたくさんあり自分を見つめなおすことができました。

▶ 事業概要

毎年8月に開催する「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」の企画運営を大学生が中心となって行うものです。

	開催日	内容	概要
1	平成28年 6月 4日（土）	キックオフ	経営者講演、ビジネスマナー研修
2	平成28年 6月19日（日）	モチベーションアップ研修	受講生同士のコミュニケーションの促進やチームワークの強化方法について学ぶ
3	平成28年 6月～8月	企画・準備	企画、準備を行う
4	平成28年 7月10日（日）	コーチング研修	子どもの考えや思いの引き出し方を学ぶ
5	平成28年 8月12日（金） ～14日（日）	子どもアントレ	小学生に会社経営の疑似体験プログラムを提供する
6	平成28年10月14日（金）	アントレ実施結果報告、修了式	アントレの実施結果を報告



2-14

人材育成

サガツクナビ（地元企業と学生との出会いをつなぐ）

事業の目的

“地元企業の採用の円滑化”と“地元で働きたい学生の就職の円滑化”を目指して、神奈川県央地域、東京都多摩地域をフィールドに定め、地元企業の魅力を伝えるイベントとインターネットでの企業情報発信の両輪で地元企業と学生の出会いの場を創出し、新卒採用（就職）のサポートをする。

さらに、若い力の“早期の戦力化”と“定着率の向上”を目指して、研修サービスの充実を図る。

実績

サガツクナビサイトへのアクセス状況：セッション数 16,785、訪問ユーザー数 10,567、ページビュー数 79,285 ページ
 メールマガジン配信回数 62 回（受信者総数 9,891 名：学生 7,190 名、就職課 1,888 名、企業 813 名）
 採用直結イベント 10 回開催、企業 34 社、学生 104 名
 企業 PR イベント 10 回開催、企業 34 社、学生 387 名、教職員 94 名
 個別相談会 3 名（学生）

情報発信

ウェブサイトやメルマガなどによる情報発信

- ①サガツクナビサイトにて地元企業やイベント情報などを発信
- ②メールマガジン「サガツクナビ通信」の配信
- ③Facebook での情報発信



イベント

<採用直結イベント> 地元企業への就職を希望する学生と企業との出会いの場

- ① ジョブミーツ（合同企業説明会）
- ② 学内合同説明会
- ③ 個別選考会

<企業PRイベント>

- ① ジョブトーク（学生と企業の交流会）

サレジオ高専デザイン学科生と地元企業との交流

サレジオ高専機械電子学科生による地元企業見学会および交流会

- ② ジョブアクション（企業の生の声が聞ける勉強会）

サレジオ高専在学学生による、さがみはら産業創造センター訪問・交流

横浜桐蔭大学業界研究講座による企業講演

- ③ 企業と教職員の交流（地元企業に対する理解を深める）

湘北短期大学全学講演、専修大学キャリアセンター職員による地元企業訪問

- ④ キャリア支援 4STEP PROGRAM（就活を控えた学生による地元企業見学ツアー）

- ⑤ 職種探求セミナー 『若手社会人と「はたらく」ことを考えよう』（社会人の行動や思考などを学ぶ）

<その他>

個別相談会（未内定就活生が抱える不安の解消、地元企業に関する情報提供を実施）



2-15

資金調達

SIC1 号投資事業有限責任組合

事業の目的

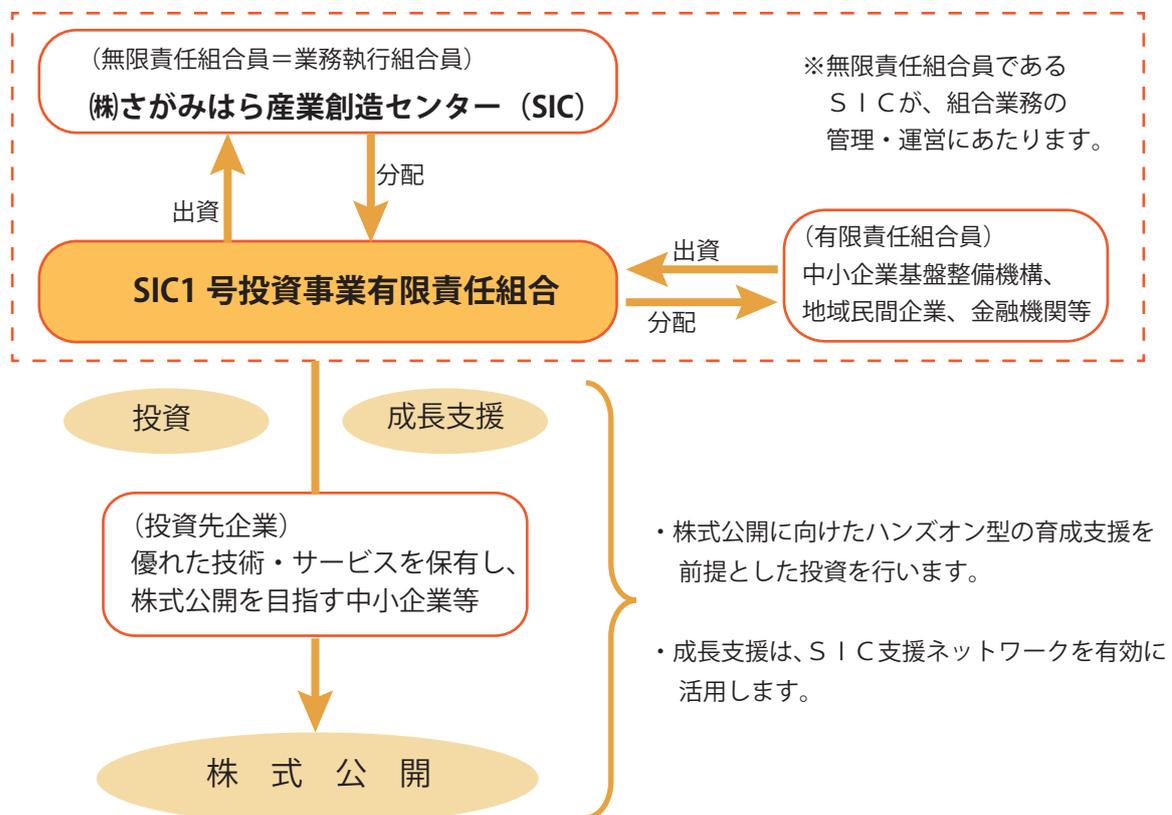
- ・S I C の金融支援サービス機能の強化（ハンズオン型企业成長支援の確立）

▶ 投資先企業

地域（投資時）		設立年月（投資時）		現在の状況（28年10月末）	
SIC 入居企業	6 社	設立 7 年未満	11 社	保有継続企業	0 社
神奈川県	1 社	その他	0 社	回収済企業	8 社
東京都	4 社			回収不能企業	3 社
計	11 社	計	11 社	計	11 社

▶ 内容

- ・平成 17 年 11 月に 5 億円のファンドを組成
- ・現時点までに設立 7 年未満のアーリーステージの企業 11 社に 344 百万円を投資実行
- ・平成 28 年 10 月にファンドの期限が到来し、組合解散、事業終了。



2-16

販路開拓

台湾ビジネスサポート事業（海外販路開拓支援事業）

事業の目的

地域企業が継続的に発展するために海外展開をサポートする。特に、中国への足掛かりを有し、市場の成長性、電子業界の集積度、生産技術力が高く、産業のインフラが整っている「台湾」をターゲットとする。

▶ 事業内容

ツアー

日付：平成 28 年 9 月 28 日～平成 28 年 10 月 2 日

内容：テクノマート見本市出展ツアー in Taiwan 於：台湾（台北）

「工業技術研究院（ITRI）主催の「台北国際発明展&テクノマート見本市」

開催に併せて、「テクノマート見本市出展ツアー」を開催」

<参加実績> 日本企業 3 社 3 名 <商談実績> 計 27 件



個別支援

- ①平成 25 年度「日台環境・建築ビジネスマッチング」参加企業の継続的フォローアップ
- ②ギフトショーにて出展台湾企業との商談サポート
- ③「2016 日台企業ビジネスマッチング商談会 in 台南」にて台湾企業との商談サポート
- ④食品輸出販売に向けた市場調査及び商流開拓サポート
- ⑤TAITRA 主催「台湾国際調達大商談会」にて台湾企業 14 社との商談サポート
- ⑥台湾企業から铸件関連部材調達に関する商談サポート

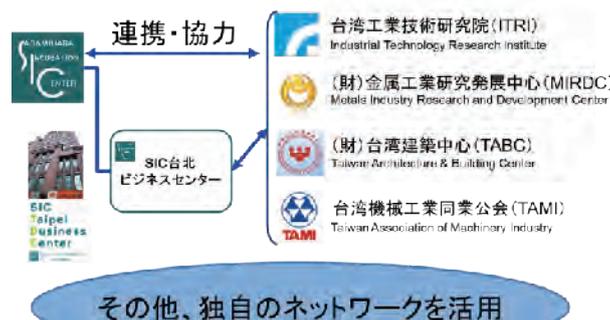
情報交換会（台湾以外の海外国も含む）

- ①亜洲光学株式会社（台湾企業）と日本企業 3 社
- ②TRONX IN（台湾支援機関）と国内インキュベータ 2 機関
- ③スリランカ・ソフトウェア・サービス産業協会（SLASSCOM）と日本企業 8 社
- ④韓国技術ベンチャー財団（韓国スタートアップ企業 3 社）と入居企業・地域企業 7 社

▶ 顧客の声

- ・受託開発や OEM 生産、販路開拓など受発注先が見つかった。
- ・大手企業との提携を実現できた。
- ・海外現地法人を設立するきっかけづくりになった。
- ・素早い意思決定や行動力とそれを実現する組織づくりの重要性を知った。
- ・自社の技術や製品が海外でも十分に通用することが分かった。

▶ 運営体制



2-17

インキュベーションコンサルタント 運営サポート事業

事業の目的

新たにビジネスインキュベータを整備しようとする機関に対しSICが長年培ってきた企業支援、支援ネットワークの構築、施設運営、BI経営に関する知識やノウハウを提供する。

▶ T-BISC (Tokyo business incubation support center) の整備、運営のサポート

一般財団法人機械振興協会と全国の産業振興機関がコンソーシアムを結成し、地方のビジネスインキュベータに入居する創業間もない企業にシェアードタイプの東京活動拠点を提供するとともに産業振興機関が持つネットワークを活用し、国内外のビジネスマッチングを行う。



3-1

さがみはら産業創造センターの歩み

1998年度 (平成10年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の提言…市内の若手経営者、相模原市などの若手スタッフによる検討会が相模原市にセンター整備を提言
1999年度 (平成11年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・会社設立…相模原市、相模原商工会議所及び新事業創出促進法に基き地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）が出資し会社設立 ・増資…地元企業や地域金融機関などが出資 ・第1回女性起業家育成セミナー開催
2000年度 (平成12年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・S I C-1（インキュベーションセンター）オープン ・第1回ビジネスプランコンテスト開催
2001年度 (平成13年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回さがみはら子どもアントレプレナー体験事業開催 ・増資…相模原市、地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）、地元企業が出資
2002年度 (平成14年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・S I C-2（ポストインキュベーションセンター）オープン ・女子美術大学と「ヒューマンデザイン開発支援事業」に関する協定を締結、中小企業のデザインを支援するデザイン開発支援事業を開始 ・経済産業省から「即効型地域新生コンソーシアム事業」を受託 ・第1回「S I C経営塾」開講
2003年度 (平成15年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・職業能力開発総合大学校と「地域企業活性化支援事業」に関する協定を締結 ・八千代銀行と「起業家支援事業」に関する協定を締結 ・地域企業450社の実態調査を実施
2004年度 (平成16年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川工科大学と「産学連携事業」に関する協定を締結 ・第1回「S I Cアントレ・インターンシップ」開講 ・かわらばん（入居企業版）創刊号発行
2005年度 (平成17年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・S I C1号投資事業有限責任組合（S I Cファンド）を組成 ・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」を受託 ・S I C燃料電池研究会が発足 ・第1回SIC起業家塾開講
2006年度 (平成18年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市から「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の運営を受託
2007年度 (平成19年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回職場リーダー塾開講 ・SPS研究会が発足
2008年度 (平成20年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社カイゼン・マイスターと業務提携し、地元企業向けのカイゼン支援を開始 ・かわらばん（地域企業版）創刊号発行
2009年度 (平成21年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・さがみはら企業力支援事業を開始、併せてメンター（経営指導者）制度を創設 ・緊急雇用事業を相模原市から受託し、大規模な市内企業実態調査や産業界の人づくり支援事業などの人材育成に取り組む ・経済産業省から「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」を受託
2010年度 (平成22年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・さがみはら表面技術研究所オープン ・インキュベーション型シェアードオフィス「DESK®」オープン ・第1回台湾ビジネスマッチングを開催
2011年度 (平成23年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾工業技術研究院と連携協定を締結 ・S I C-3（イノベーションラボ）オープン ・S I C台湾ビジネスセンターオープン ・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」を受託 ・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葎尾根のブルーベリー」発行
2012年度 (平成24年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」等を受託 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」を受託 ・インキュベーションセンター「T-B I S C」、「M B D A」の計画・運営サポートを受託 ・第1回SICカイゼン研究会開講 ・第1回南西フォーラムビジネスマッチング開催
2013年度 (平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・財団法人台湾建築中心と連携協定締結 ・財団法人金属工業研究発展中心と連携協定締結
2014年度 (平成26年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型就職支援事業「サガツク」を開始 ・全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」受託 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト事業受託
2015年度 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市から産業用ロボット導入支援事業を受託し、さがみはらロボット導入支援センターをオープン ・神奈川県「成長産業育成支援事業」受託
2016年度 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで一人前の社会人になる研修」を開始 ・地方創生交付金計画で相模原市と連携する大和市・座間市・寒川町から産業用ロボット導入支援事業を受託 ・綾瀬市商工会からビジネスマッチング事業を受託

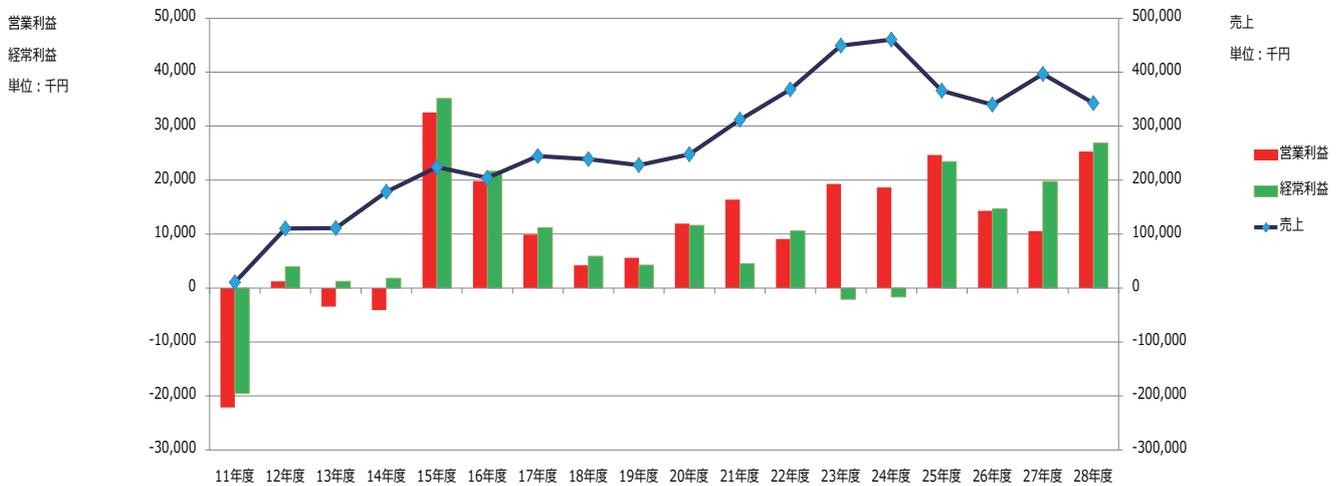
3-2

主な事業と開始年度（カテゴリー別）

年度	ラボ・オフィス	経営サポート	技術開発	人材育成	資金調達	販路開拓
1999年度 (平成11年度)		・ビジネスプランコンテスト	・新規成長産業連携支援事業	・女性起業家育成セミナー		
2000年度 (平成12年度)	SIC-1 オープン	・株式公開塾 ・入居企業セミナー	・中小企業のための技術セミナー			
2001年度 (平成13年度)			・ミニコンソーシアム事業	・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業(小学生)		
2002年度 (平成14年度)	SIC-2 オープン	・アントレフォスター事業 ・中小企業のデザイン開発支援	・経済産業省「即効型地域新生コンソーシアム」受託	・SIC経営塾・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業(中高生)		・KSPベンチャーマッチング商談会に参画
2003年度 (平成15年度)		・八千代起業家支援プログラム ・地域企業実態調査(450社)	・大学シーズ調査	・SIC経営者セミナー		
2004年度 (平成16年度)		・さがみはら青年アントレプレナープロデュース事業 ・かわらばん(入居企業版)創刊号発行	・新技術創造研究会	・SICアントレ・インターン		
2005年度 (平成17年度)			・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」受託 ・燃料電池研究会発足	・SIC起業家塾	・SIC1号投資事業 有限責任組合組成	
2006年度 (平成18年度)		・チャレンジショップ	・「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」受託	・SIC起業家育成大学校	・入居企業4社、地域企業3社に出資	
2007年度 (平成19年度)			・SPS研究会	・SIC職場リーダー養成塾	・入居企業1社、地域企業2社に出資	
2008年度 (平成20年度)		・中小企業のカイゼン活動支援 ・かわらばん(地域企業版)創刊号発行	・実用化開発支援		・入居企業1社に出資	・SICテクノロジーマッチング ・KSP協創マッチングフォーラムに参画
2009年度 (平成21年度)		・メンター制度 ・さがみはら企業力支援事業 ・地域企業実態調査(500社)	・経済産業省「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」受託	・地域産業界の人づくり支援事業 ・さがみはら未来塾 ・ベンチャー・中小企業人材確保支援事業		
2010年度 (平成22年度)	DESK® オープン	・ソーシャルビジネス創育支援事業	・高度研究人材活用事業(さがみはら表面技術研究所) ・神奈川県パイオベンチャー人材活用事業			・台湾ビジネスマッチング開催 ・川崎市産業振興財団新事業マッチングフォーラム参画
2011年度 (平成23年度)	SIC-3 オープン	・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葎尾根のブルーベリー」発行	・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」受託 ・新製品開発のための「協創プロジェクト」 ・相模原市から「新技術実用化コンソーシアム形成支援事業」受託	・ISB公共未来塾		・台湾工業技術研究院と協定 ・SIC台湾ビジネスセンターオープン
2012年度 (平成24年度)	T-BISC、 「MBDA」 の計画・運営サポート	・地域発信冊子「里山コミュニティ」発行 ・企業紹介冊子「い〜コトなび」発行	・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」	・SICカイゼン研究会 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」 ・女性力発揮セミナー ・子どもワークショップ		・日本台湾アライアンスセミナー ・南西フォーラムビジネスマッチング
2013年度 (平成25年度)			・可搬型燃料電池・飲料水供給装置の開発	・SICカイゼンスクール		・財団法人台湾建築中心、財団法人金属工業研究発展中心と連携協定を締結 ・日台環境・建築ビジネスマッチングを開催
2014年度 (平成26年度)			・全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・規模事業者連携支援事業」 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト事業	・「サガツクナビ」ポータルサイト		
2015年度 (平成27年度)			・相模原市「産業用ロボット導入支援事業」 ・相模原市「コンソーシアム加速化支援事業」受託			
2016年度 (平成28年度)				・「みんなで一人前の社会人になる研修」	・SIC1号投資事業有限責任組合解散	

3-3 財務状況

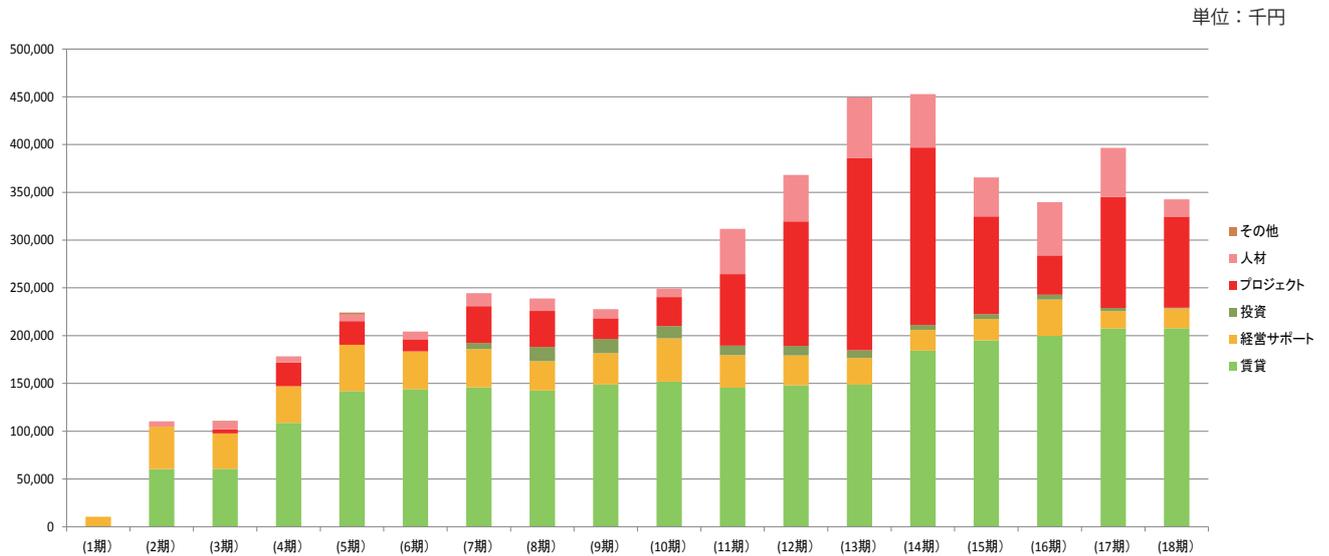
P/L 推移



単位：千円

	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)
売上	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,221	452,739	365,658	339,759	396,465	342,657
営業利益	-22,122	1,257	-3,455	-4,101	32,523	19,804	9,914	4,219	5,620	11,946	16,397	9,080	19,283	18,649	24,640	14,298	10,548	25,278
経常利益	-19,522	3,922	1,256	1,817	35,141	21,656	11,200	5,910	4,242	11,604	4,514	10,568	-2,082	-1,641	23,436	14,711	19,727	26,860

事業別売上高の推移



単位：千円

	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)
貸貨	0	60,473	60,622	108,655	142,026	143,982	145,990	142,525	148,914	151,930	145,552	147,969	148,705	184,290	195,181	199,726	207,547	207,790
経営サポート	10,429	44,344	37,125	38,379	48,475	39,669	40,038	30,769	32,709	45,225	34,042	31,402	28,039	21,837	22,348	38,000	18,204	20,750
投資	0	0	0	0	0	0	6,250	15,000	15,000	12,915	9,999	10,000	7,917	5,000	5,000	5,000	3,250	750
プロジェクト	0	0	4,130	24,713	24,744	12,530	38,545	37,595	21,655	30,258	74,868	130,200	201,456	185,723	102,340	41,195	116,116	95,227
人材	0	5,447	8,629	6,576	6,785	7,809	13,699	12,922	9,525	8,969	47,363	48,574	63,105	55,889	40,788	55,837	51,349	18,140
その他	0	0	502	0	2,240	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上合計	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,222	452,739	365,658	339,759	396,466	342,657

3-4

競争的資金の獲得

単位：千円

年度	資金獲得先	事業名	資金額
平成14年度	経済産業省	即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業 「次世代デバイス用超高精度ナノレベル研磨・洗浄複合装置の開発」	40,000
平成17年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	20,000
平成18年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	22,000
平成20年度	中小機構	川上川下ネットワーク構築支援事業 「次世代エネルギーシステムの早期実用化ネットワーク構築」 新現役チャレンジ支援事業 「新現役人材による中小企業支援のモデル事業としてカイゼン支援プログラム開発」	25,600
	神奈川県	ベンチャー創出促進モデルプロジェクト事業 「動物病院医療市場を対象とした犬のアレルギー及び免疫検査受託事業」 「静電エンコーダの事業化」	
平成21年度	経済産業省	低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業 「太陽光雨水などの自然の恵みを有効活用した安全・安心な低炭素社会システムの構築」	64,000
平成22年度	経済産業省	中小企業海外販路開拓支援事業（台湾ビジネスマッチング） 「神奈川県ビジネス・インキュベータ連携によるIT/エレクトロニクス分野 研究関連型ベンチャー企業の海外販路支援事業」	11,500
平成23年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」	7,000
	中小機構	BIネットワーク構築事業 「T-BISCの整備に協調・連携した国内外ビジネスマッチング事業」	
	神奈川県	新産業ベンチャー事業化支援事業 「生物機能制御・改善のための体内時計調節剤及び関連試薬の開発」	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成24年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」 高度実践型支援人材育成事業	101,700
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわエネルギー関連ベンチャーマッチング・パートナーリング支援事業	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成25年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業	8,000
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「表面形状を制御した医療用機能部品の要素開発」	
平成26年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業イノベーション事業	33,900
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」	
平成27年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業	21,470
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」	
		コンソーシアム加速化支援事業	
平成28年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業	17,770
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	

3-5

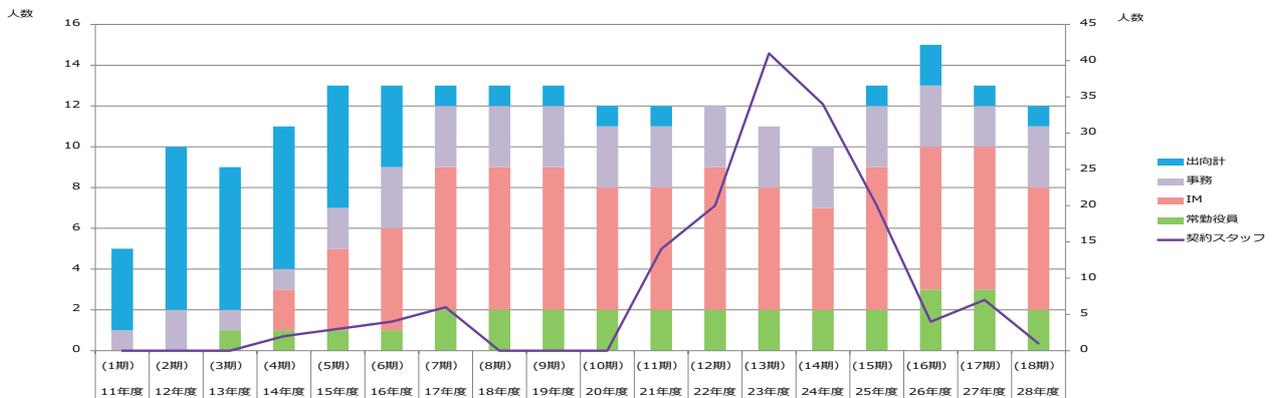
当社出資状況

	当 社	
	入居企業	地域企業
平成 13 年度		1 社 (2,400)
平成 14 年度		1 社 (2,100)
平成 16 年度		
平成 18 年度	1 社 (5,000)	
平成 19 年度	1 社 (5,000)	

* () 数字は金額 単位：千円

3-6

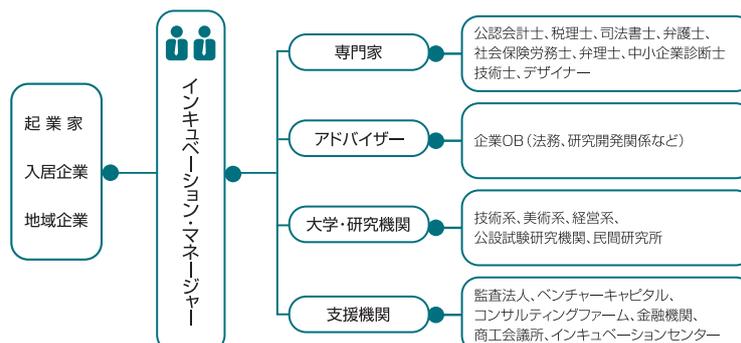
スタッフ数の変遷



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)
常 勤 役 員	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2
非 常 勤 役 員	13	13	13	13	15	15	13	12	11	10	10	10	11	11	12	13	12	12
IM	0	0	0	2	4	5	7	7	7	6	6	7	6	5	7	7	7	6
事 務	1	2	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3
相 模 原 市 从 出 向	3	5	5	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中 小 機 構 从 出 向	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銀 行 从 出 向	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1
出 向 計	4	8	7	7	6	4	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1
計	5	10	8	10	12	12	11	11	11	10	10	10	9	8	11	12	10	10
契 約 ス タ ッ フ	0	0	0	2	3	4	6	0	0	0	14	20	41	34	20	4	7	1
パ ー ト タ イ マ ー	0	1	1	4	2	2	4	3	1	1	1	1	3	3	3	4	2	3

3-7

支援ネットワーク



3-8

視察・研修

平成 28 年度 国内

名 称
視 察
関東 I M 研修会、産業のあるまちネットワーク、日本設備管理学会、長野県飯田市、川崎市工業団地連合会、愛媛県新居浜市議会、東京都民銀行、東京都中小企業振興公社、G L P、津久井商工会連絡協議会、京都リサーチパーク、神奈川県地域県政総合センター、秦野商工会議所工業部会
研 修
財団法人 日本立地センター インキュベーション・マネージャー研修

海外

年 度	名 称	
平成 17 年度	チュニジアベンチャーキャピタル協会 海外技術者研修	チュニジア アジア、アフリカ諸国
平成 19 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（J I C A） モンゴル中小企業振興研修	アジア、アフリカ、中東、中南米諸国 モンゴル
平成 20 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（J I C A）	アジア、オセアニア、アフリカ諸国
平成 21 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（J I C A） 韓国インキュベーションスタッフ研修	アジア、オセアニア、アフリカ諸国 韓国
平成 22 年度	オマーン技術大学指導員研修 無錫市政府 マレーシア国職業訓練校指導員研修	オマーン 中国 マレーシア
平成 23 年度	工業技術研究院 中国山東省（対日投資）視察団	台湾 中国
平成 24 年度	中小企業支援法制度検討視察（J I C A） 国際企業人材育成センター日本語プログラム研修 （台湾貿易センター）	ベトナム 台湾
平成 25 年度	アフリカ地域女性起業家支援セミナー（J I C A） 台湾工業技術研究院 産業経済與趨勢研究中心	アフリカ諸国 台湾
平成 26 年度	シンガポール国立大学	シンガポール
平成 27 年度	法政大学（欧州産学連携研究者視察団）、トロント市議会 中国 無錫市、韓国技術ベンチャー財団 行政院世界企業誘致総合サービスセンター、工業技術研究院 台北市コンピュータ協会 アメリカ オースティンアジア商工会、タイ対日技術振興協会	欧州、アメリカ 中国、韓国 台湾 台湾 アメリカ、タイ
平成 28 年度	スリランカソフトウェアサービス協会	スリランカ

3-9

新聞掲載 (28年度)

年月日	新聞名	表 題
2016.05.01	相模経済新聞	子どもアントレ・インターンシップ募集
2016.05.10	かながわ経済新聞	経営塾・リーダー塾開催
2016.06.20	相模経済新聞	経済産業省「はばたく中小 300 社」SIC に事務所をおく 2 社
2016.07.08	日刊工業新聞	「カイゼン」セミ共催 市外企業受け付け
2016.07.14	日刊工業新聞	ロボット・人でつながる相模原
2016.09.10	かながわ経済新聞	ビジネスマッチング連携 SIC・綾瀬商工会
2016.09.22	日本経済新聞	米スタンフォード大と連携
2016.10.04	日刊工業新聞	南西フォーラム ロボ協働セミナー
2016.11.01	相模経済新聞	経営者セミナー「おもてなし」でモノづくり
2016.11.01	相模経済新聞	「ロボットと人の協働」考える 日米の権威招きセミナー
2016.11.03	日本経済新聞	経営者セミナー おもてなしの心
2016.11.09	日刊工業新聞	経営者セミナー 下町工場の新しい姿紹介
2016.12.08	日経産業	CNF など最新技術紹介 - ものづくり連携
2017.02.16	タウンニュース	ロボットを体験しよう ロボット特区の成果紹介
2017.03.20	相模経済新聞	相模原でロボ展示会 ロボット特区

3-10

広報紙 「かわらばん」の発行

▶ SICかわらばん（入居企業版） 内容：入居企業紹介、セミナー等情報提供等

入居企業様と入居企業様そして当センターとのコミュニケーションの促進を図る為に、新しく入居された企業様のご紹介や入居企業交流会、当センターの開催事業、施設関係の細やかなご案内など、当センターでより快適にご入居頂ける事を目的に毎月発行しています。

発行No.	発行日	紹介企業名（入居企業）他
No. 143	平成 28 年 4 月 1 日	株式会社シバタ
No. 144	平成 28 年 5 月 2 日	株式会社日刊工業新聞社 - 相模分室
No. 145	平成 28 年 6 月 1 日	有限会社 G-Think
No. 146	平成 28 年 7 月 1 日	役員就任のご挨拶
No. 147	平成 28 年 8 月 1 日	さがみはらロボット導入支援センター
No. 148	平成 28 年 9 月 1 日	アラベル株式会社
No. 149	平成 28 年 10 月 3 日	インタープロテイン株式会社
No. 150	平成 28 年 11 月 1 日	株式会社プトデザイン
No. 151	平成 28 年 12 月 1 日	有限会社サーフクリーン
No. 152	平成 29 年 1 月 5 日	新年のご挨拶
No. 153	平成 29 年 2 月 1 日	三立工業株式会社
No. 154	平成 29 年 3 月 1 日	HKT株式会社



▶ SICかわらばん（地域企業版） 内容：地域企業紹介、入居企業紹介、特集記事、セミナー等情報提供、地元紹介等

地域企業様と当センター、地域企業様と入居企業様、地域企業様と地域企業様を繋ぐコミュニケーションツールとして、入居企業様や地域企業様に親しまれ、企業の皆さまにより良い情報をお届けすることを目的に隔月発行しています。

発行No.	発行日	紹介企業名（地域企業）	紹介企業名（入居企業）	企画ページ
No. 43	平成 28 年 5 月 13 日	有限会社フレックス	ARM Technologies 株式会社	さがみはら産業創造センター <small>※SAGAMIHARA+DESIGN 企業と地域と学生と、デザインのあるカタチ</small>
No. 44	平成 28 年 7 月 4 日	コーワテック株式会社	株式会社コーア商事株式会社	株式会社 F-Design
No. 45	平成 28 年 9 月 15 日	谷津建設株式会社	株式会社 ACR	株式会社イノウエ
No. 46	平成 28 年 11 月 15 日	株式会社 KYOEI	株式会社テクニカルエンジニアリングサポート	クラフト株式会社
No. 47	平成 29 年 1 月 15 日	相模原菓子工房 ら・ふらんす	株式会社トライアンド	年頭挨拶
No. 48	平成 29 年 3 月 15 日	株式会社広和産業	株式会社シバタ	橋本デザイン会議



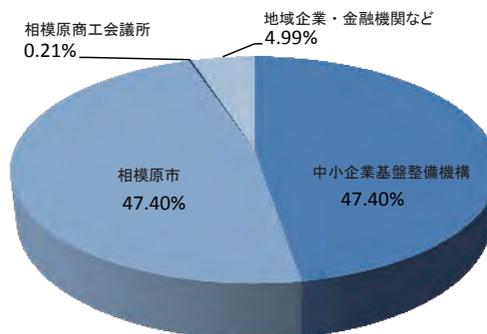
3-11

株主と役員

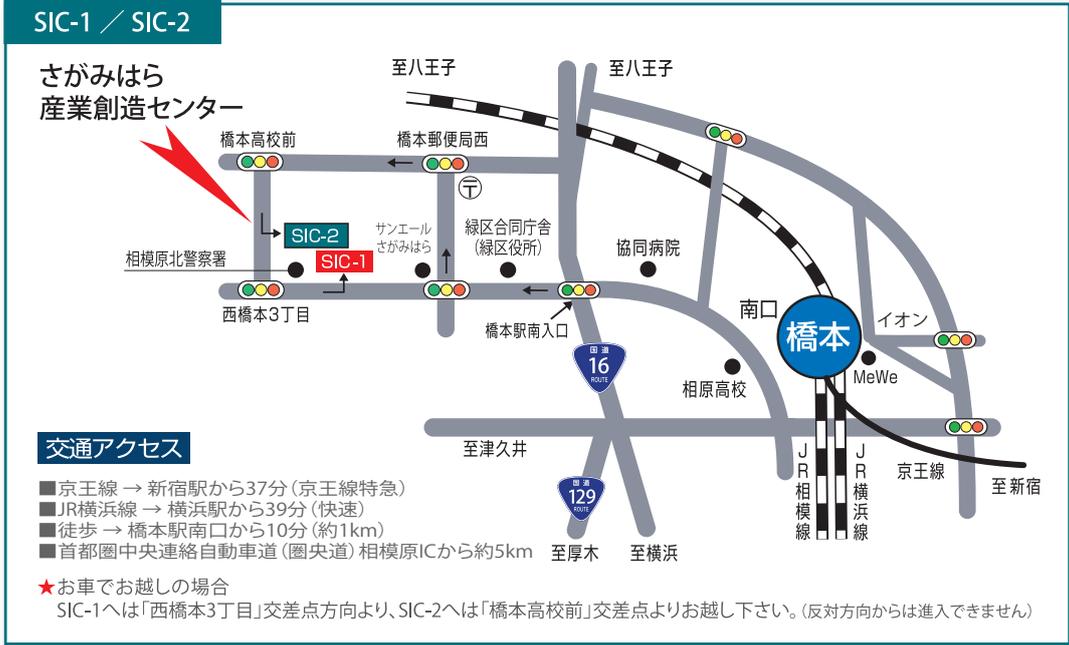
株主数：31 者 発行済株式の総数：47,890 株 資本金：23 億 9,450 万円

相模原市	独立行政法人中小企業基盤整備機構
株式会社ボイス	株式会社ハリマビシステム
古木建設株式会社	株式会社八千代銀行
株式会社横浜銀行	西武信用金庫
湘南デザイン株式会社	株式会社三菱東京UFJ銀行
相模原商工会議所	日本テクノ株式会社
城山工業株式会社	日本電子工業株式会社
三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社	権田金属工業株式会社
株式会社相模運輸	相模原市農業協同組合
相模ガス株式会社	株式会社昭和真空
株式会社ア・ドマニー	篠崎電業株式会社
タイヨー印刷株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
東邦電子株式会社	野村 隆
ブックオフコーポレーション株式会社	アイシンク株式会社
Apex 株式会社	

構成割合



代表取締役	橋元 雅敏	
取締役	吉田 修一	(株式会社相模運輸 代表取締役)
	山崎 利宏	(城山工業株式会社 代表取締役)
	西澤 勇司	(株式会社キャロットシステムズ 代表取締役)
	杉本 祥一	(株式会社ハイスポット 代表取締役)
	古橋 裕一	(相陽建設株式会社 代表取締役)
	早川 正彦	(有限会社早川銘板製作所 代表取締役)
	中島 伸幸	(相模原市 環境経済局 経済部長)
	久保田 修	(相模原商工会議所 中小企業振興部長)
	監査役	石川 幸二
原田 恒敏		(公認会計士原田恒敏事務所 代表)
平田 光子		(日本大学 生産工学部 マネジメント工学科/生産工学研究科 教授)
原 光宏		(株式会社横浜銀行 相模原駅前支店長)
佐々木 一彦		(株式会社八千代銀行 相模原法人営業部 部長)



株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd. (SIC)

SIC-1 / SIC-2

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21

SIC-3

〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝1880番-2

Tel:042-770-9119(代) Fax:042-770-9077

URL <http://www.sic-sagamihara.jp>